

向日市にお住まいの皆さまへ

令和4年
2月1日から

指定ごみ袋制度

が始まります。

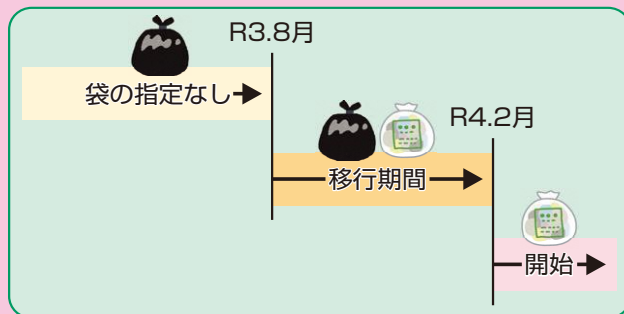
■指定ごみ袋制度とは

市が指定する半透明のごみ袋を使って、ご家庭の「もやすごみ」を出していただく制度です。



半透明のごみ袋へ

■開始はいつから？



移行期間 令和3年8月～令和4年1月

導入開始 令和4年2月

移行期間までは、ご家庭にある袋でも使えますが、R4.2月以降はごみを出す際の外袋としては**指定袋以外回収できません。**

■有料化制度ではありません

袋代金に、ごみの処理費用を含める「有料化制度」ではありません。市販のごみ袋と同程度の価格で、スーパー等にて販売される予定です。

■なぜ始めるの？

中身が分かる半透明袋で「中身が見える化」されることで、分別とリサイクル意識を高め、さらにごみの減量と資源化を進めるものです。

■指定ごみ袋制度の目的は？

- ごみの分別や適正排出によるごみの減量
- 将来更新予定の焼却炉など施設建設費の抑制
- 焼却などの処理経費の削減
- 事業所や他市からの不法投棄の防止
- ごみ収集作業員の安全性向上
- ごみの見える化による食品ロスの削減

お知らせします!!

ごみを
減らしましょう!!



Q&A

Q 1. なぜごみ減量が必要なの？

A 環境負荷の軽減

ごみを燃やすと CO₂ が発生します。
この CO₂ が地球温暖化の原因となっています。

限りある資源の活用

石油・木材などの天然資源には限りがあります。

処分場の延命化

ごみを燃やした灰を捨てる場所には限りがあります。



Q 2. 半透明指定ごみ袋を導入すると、ごみの減量化・資源化が進むの？

- A 他の自治体の例を見ても、半透明の指定ごみ袋制度はごみの減量化・資源化に効果があります。袋の中身を「見える化」することで、分別を徹底しやすごみの減量を図ります。

Q 3. 指定ごみ袋制度が始まると、市販の袋などは使えなくなるの？

- A 生ごみや紙おむつなどを小分けにして入れる「内袋」としてお使いいただけます。

Q 4. ごみ袋のサイズは選べるの？

- A ご家庭でのごみの量によって、袋のサイズを選んでいただけるよう、大(45リットル)、中(30リットル)、小(15リットル)のサイズ展開を予定しています。

ごみを減らすために

Reduce

リデュース（発生抑制）
 unnecessaryものは買わない

Reuse

リユース（再使用）
ものは修理して大切に使いましょう

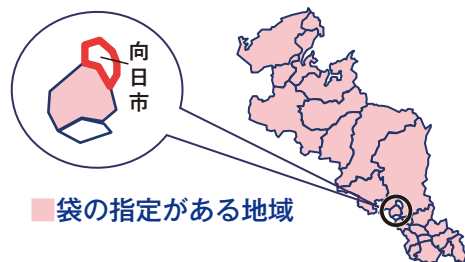
Recycle

リサイクル（再資源化）
きちんとごみを分別しましょう

3つのRを心がけ、ふだんの生活からごみを少なくする取り組みがとても大切です。



京都府下のもやすごみ袋の指定状況



京都府内では、向日市と大山崎町を除く全ての市町村で袋の指定袋制が取り入れられており、ごみを「見える化」することで、ごみの減量を進められています。

子どもたちに
よりよい地球環境を引き継ぐため
私たちにできることから始めましょう！

【問合せ先】
向日市 環境経済部
環境政策課
TEL (075-931-1111)
FAX (075-922-6587)

